

# 關係資料



# 秋田市の施策について

## 問3 秋田市の施策について

① 秋田市の行っていることの中で、あなたはどのような分野に力を入れて欲しいと思いますか。次の中から5つまで選んでください。

(記入欄)

- |                    |                  |                          |
|--------------------|------------------|--------------------------|
| 1 道路交通網の整備         | 13 雇用対策          | 26 青少年の健全育成              |
| 2 バス路線の維持          | 14 観光振興          | 27 スポーツ振興                |
| 3 冬期の除雪            | 15 農林水産業の振興      | 28 芸術・文化振興               |
| 4 中心市街地のにぎわい創出     | 16 高齢者福祉         | 29 住民自治やコミュニティの振興        |
| 5 公営住宅の供給          | 17 障害者福祉         | 30 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進 |
| 6 上水道、下水道の整備       | 18 子育て支援         | 31 男女共生の推進               |
| 7 美しい景観づくり         | 19 乳幼児医療・児童福祉    | 32 市民への広報、広聴の充実          |
| 8 公園整備や緑化の推進       | 20 健康づくり・医療・保健衛生 | 33 その他 ( )               |
| 9 環境保全対策           | 21 防犯・防災対策       |                          |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策    | 22 消費者問題対策       |                          |
| 11 IT基盤整備          | 23 小・中学校の教育環境整備  |                          |
| 12 商工業の振興や地元経済の活性化 | 24 大学など高等教育環境の整備 |                          |
|                    | 25 生涯学習環境の整備     |                          |

② ①で選んだ中で、あなたが、一番、力を入れて欲しいと思うものはどれですか。1つ選んでください。

(記入欄)

## 市民協働について

※別添参考資料参照

## 問4 市民協働について

① 秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 役割分担として適切である      2 市の役割が重すぎる      3 市の役割が軽すぎる  
4 わからない

取組事例	役 割 の 事 例		
地域内道路の整備と維持管理	【市】 ・舗装や側溝などの道路施設の補修・改良 ・幹線道路の定期的なパトロールによる安全確保	【市民】 ・生活道路の側溝清掃や草刈りなどの軽易な維持管理 ・地域道路の危険箇所などの情報提供	(記入欄) <input style="width: 40px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>
ごみ減量活動の促進	【市】 ・ごみの減量に関する情報を提供 ・効果的な仕組みづくりや減量施策の実施	【市民】 ・ごみをできるだけ出さない生活を意識・実践	<input style="width: 40px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>
高齢者の健康維持の促進（介護予防サービスの充実）	【市】 ・総合的な介護予防体制（システム）の確立	【市民】 ・利用者の状態にあった良質なサービスの提供（サービス提供事業者） ・介護予防の必要性への理解と地域や家族ぐるみでの介護予防の実践	<input style="width: 40px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>
子育て支援のネットワークづくり	【市】 ・地域の子育て支援者への研修などの実施 ・子育て支援者の組織づくりや連携の支援	【市民】 ・地域全体での子育て支援への理解と子育て支援活動への参加	<input style="width: 40px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>
災害ボランティアの受入体制の確保	【市】 ・ボランティア関係団体との相互理解 ・災害時のボランティア活動の体制づくり	【市民】 ・災害ボランティア活動への理解 ・災害発生時の救護活動への参加	<input style="width: 40px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>

② 市と市民の役割分担として、具体的な考え・ご意見があれば記入してください。

問5 NPO・ボランティア活動について

- ① NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会について、次の中から1つ選んでください。  
 1 話題や情報を耳にする機会が多い    2 話題や情報を時折耳にする機会がある    (記入欄)   
 3 話題や情報をあまり耳にしない    4 話題や情報を耳にすることはない
- ② ①で1または2を選んだ方にお聞きします。どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いですか。次の中から3つまで選んでください。  
 (記入欄)     
 1 テレビ、新聞などマスメディア    2 広報あきた    3 行政のパンフレット等  
 4 NPO・ボランティア団体等のパンフレット等    5 職場、学校  
 6 町内会など地域    7 友人    8 家族  
 9 市のホームページなどインターネット    10 その他 (    )
- ③ あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。  
 1 関心がある    2 ある程度関心がある    3 どちらともいえない    (記入欄)   
 4 あまり関心がない    5 関心がない
- ④ あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。  
 1 積極的に参加している    2 ときどき参加している    (記入欄)   
 3 参加したことがある    4 参加したことがない
- ⑤ ③で1から4を選んだ方におたずねします。あなたが実際に行っている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野はどれですか。次の中から3つまで選んでください。  
 (記入欄)     
 1 保健・医療・福祉の増進    10 男女共生社会の形成促進  
 2 社会教育の推進    11 子どもの健全育成  
 3 まちづくりの推進    12 情報化社会の発展  
 4 学術・文化・芸術・スポーツの振興    13 科学技術の振興  
 5 環境の保全    14 経済活動の活性化  
 6 災害救援    15 職業能力の開発、雇用機会の拡充支援  
 7 地域安全    16 消費者の保護  
 8 人権擁護、平和の推進    17 その他 (    )  
 9 国際協力

都市内地域分権について

※別添参考資料参照

問6 都市内地域分権について

【秋田市の目指す都市内地域分権】

秋田市の目指す都市内地域分権とは、東・西・南・北・中央・河辺・雄和の市内7地域に設置する(仮称)市民サービスセンターを拠点とし、市民に身近な行政サービスを身近な場所で提供することや、地域の課題は一定程度地域で解決できる体制づくりを行うことです。

- ① 秋田市は、上記のような都市内地域分権の実現に取り組んでいます。このことをあなたは知っていましたか。次の中から1つ選んでください。  
 (記入欄)   
 1 知っている    2 ある程度知っている    3 言葉は知っている    4 知らない
- ② ①で1～3を選んだ方にお聞きします。どのようにして都市内地域分権を知りましたか。次の中から3つまで選んでください。  
 (記入欄)     
 1 市の説明会    2 町内会など地域団体の会合    3 広報あきた  
 4 市議会の質疑    5 テレビ、新聞などマスコミ    6 市のパンフレット  
 7 市のホームページなどインターネットを通じて    8 その他 (    )
- ③ このような秋田市の取り組みをあなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んでください。  
 (記入欄)   
 1 推進すべき    2 ある程度推進すべき    3 どちらともいえない  
 4 あまり推進すべきでない    5 推進すべきでない

## 行政サービスについて

### 問7 行政サービスについて

公共施設の維持管理費用には、市が負担する部分と利用料などの形で利用者が負担する部分があります。市が負担するという事は、その施設を利用する・しないにかかわらず、税金という形ですべての市民が、費用を負担しているということです。

- ① 秋田市には、様々な公共施設がありますが、あなたは、この1年間に市の公共施設を利用しましたか。次の1～14の各施設について、あなたの利用頻度に近いものに○をつけてください。

施設	1度も利用しなかった	数回利用した	月に1、2回程度利用した	週に1回以上利用した
1 温泉などの保養施設	1	2	3	4
2 キャンプ場	1	2	3	4
3 体育館	1	2	3	4
4 グラウンド	1	2	3	4
5 テニスコート	1	2	3	4
6 プール	1	2	3	4
7 会議室や和室などの集会施設	1	2	3	4
8 調理室、工作室などの実習・研修施設	1	2	3	4
9 ホールなどのステージ施設	1	2	3	4
10 音楽などの練習室	1	2	3	4
11 美術館、博物館	1	2	3	4
12 動物園	1	2	3	4
13 駐車場、駐輪場	1	2	3	4
14 市民農園	1	2	3	4

- ② 秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設の場合、維持管理費用についてどう考えますか。次の1～15の各施設について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

施設	市が全額負担	市が多く負担	市と利用者が均等に負担	利用者が多く負担	利用者が全額負担
1 温泉などの保養施設	1	2	3	4	5
2 キャンプ場	1	2	3	4	5
3 体育館	1	2	3	4	5
4 グラウンド	1	2	3	4	5
5 テニスコート	1	2	3	4	5
6 プール	1	2	3	4	5
7 会議室や和室などの集会施設	1	2	3	4	5
8 調理室、工作室などの実習・研修施設	1	2	3	4	5
9 ホールなどのステージ施設	1	2	3	4	5
10 音楽などの練習室	1	2	3	4	5
11 美術館、博物館	1	2	3	4	5
12 動物園	1	2	3	4	5
13 駐車場、駐輪場	1	2	3	4	5
14 市民農園	1	2	3	4	5
15 斎場	1	2	3	4	5

## 安全安心な暮らしについて

### 問8 安全安心な暮らしについて

- ① あなたが、秋田市で安全安心な生活を送るうえで、より充実した方がよいと思う分野はどれですか。次の中から5つまで選んでください。 (記入欄)

--	--	--	--	--

- 1 災害時における他自治体や県など関係機関との連携強化
- 2 災害時における隣近所による相互避難協力など、地域防災力の強化
- 3 鳥インフルエンザなどに対応する健康危機管理体制の整備
- 4 効率的な道路除排雪
- 5 地域が主体的に取り組む除排雪対策支援
- 6 地域による防犯活動への支援
- 7 子どもの安全対策
- 8 交通安全対策の強化
- 9 消費者問題対策
- 10 食品衛生監視など食の安全確保
- 11 市立病院など地域保健・医療体制の強化
- 12 乳幼児や生活習慣病等の検診・予防接種など疾病予防
- 13 消防・救急・救命体制
- 14 生活保護など社会保障制度の確保
- 15 その他 ( )

- ② あなたをはじめとする家族や地域の方々が、安全安心な生活を送るために、あなた自らが役割を担う、あるいは地域が積極的に行動すべきと思う取り組みはどれですか。必要と思うものを、次の中から3つ選んでください。 (記入欄)

--	--	--

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 地域のお年寄りの避難支援 | 2 自主防災組織や消防団への参加 |
| 3 避難情報の相互連絡    | 4 高齢者世帯の除雪       |
| 5 地域の除排雪活動     | 6 小規模堆雪場の確保      |
| 7 通学路の見守り活動    | 8 交差点等での交通安全活動   |
| 9 自主防犯団体への参加   | 10 その他 ( )       |

## 食料に関する意識について

※別添参考資料参照

### 問9 食料などに関する意識について

- ① 食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念される中で、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。1～6の各項目についてどちらかに○をつけてください。

留 意 点	意識している	意識していない
1 食品の期限(賞味・消費期限)	1	2
2 国産品か輸入品	1	2
3 輸入品の原産国	1	2
4 農産物(野菜・果物など)における農薬の使用	1	2
5 加工食品の原材料(遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無)	1	2
6 県内産か県外産	1	2

- ② 秋田市では、地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」をさらに進めようとしています。あなたはこういったことを期待しますか。次の中から3つ選んでください。 (記入欄)

--	--	--

- |                      |                   |          |
|----------------------|-------------------|----------|
| 1 学校給食での地元農産物の利用     | 2 スーパー等での直売コーナー設置 | 3 直売所の設置 |
| 4 食育の推進              | 5 地元農産物加工所への支援    |          |
| 6 地元農産物が購入できる場所の情報提供 | 7 地元農産物の供給量の増加    |          |
| 8 その他 ( )            |                   |          |



# 「秋田市しあわせづくり市民意識調査」にご協力を

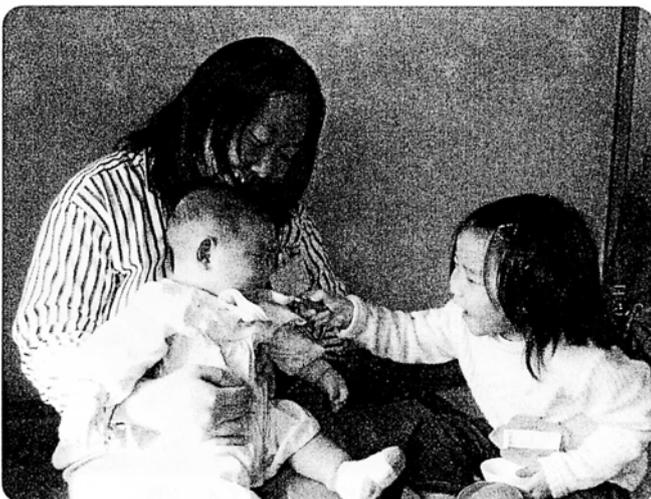
市内に住む15歳以上のかたから3千人を無作為に選び、調査票をお送りいたしました。質問は10問です。調査票にお答えいただき、返信用封筒に入れて郵送してください。締め切りは11月4日（火）です。切手は不要です。

このアンケートは、市民の皆様の考えや意見を第11次秋田市総合計画の新しい期間計画にいかすために行います。調査結果は、秋田市の将来を考えるうえで大切な判断材料になります。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



平成20年10月  
秋田市長 佐竹 敬久

## 第11次秋田市総合計画の新しい期間計画とは…



第11次秋田市総合計画は、将来都市像「しあわせ実感 緑の健康文化都市」をめざして、平成19年4月にスタートしました。現在は、最初の3年間の期間計画「19-21期計画」のもと、様々な取り組みを進めています。

平成21年度は、平成22年度からはじまる新しい期間計画「22-24期計画」を定める年にあたります。

秋田市では、アンケート結果をもとに、社会情勢や人口動態の変化等を踏まえながら、平成27年度の将来都市像の実現に向けて、様々な取り組みや事業を検討し、新しい期間計画「22-24期計画」を策定します。

## 回答の際の参考にしてください

### ☆「市民協働」「都市内地域分権」ってどんなこと？

秋田市では、市民自らが主体となって「自分たちの地域は自分たちでつくる」ことができるまちをめざしています。

「市民協働」と「都市内地域分権」は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」ことができる行政運営の手法として取り組んでいるものです。

**市民協働を推進し、市と市民が、住みよいまちづくりという共通の目的に向けて、ともに考え、ともにつくり、ともに実行していきたいと考えています**

#### 市民協働とは



これからの社会では、市民と市が役割分担しながら、住民一人ひとりが主体となったまちづくりを進めることが一層、重要になっていきます。そのため、市では、住民や町内会、ボランティア、NPO（継続的・自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称）などとのパートナーシップを大切にしながら、市民協働を推進しています。

**「身近な行政サービスを身近な場所で提供できる」「地域の課題を地域で解決できる」仕組みづくりを進めます**

#### 都市内地域分権とは



秋田市は、平成17年、旧河辺町・旧雄和町と合併しました。面積が約2倍に拡大した広い市域を念頭に、市内各地域の個性を大切にしながら、行政サービスを身近な場所で行い、各地域に合ったまちづくりを展開していく必要があります。

そのために、合併時に作成した、合併後のまちづくりの計画である「緑あふれる新県都プラン」では（仮称）市民サービスセンターを東部・西部・南部・北部・中央・河辺・雄和の市内7地域に整備することとしました。第1号となる（仮称）西部地域市民サービスセンターは、来春のオープンに向けて工事が進められています。

センター開設後は、全庁的な課題は市役所本庁で、地域の課題はセンターで、の役割分担のもと、予算や権限等の移譲を行うとともに、地域を単位に、市民のみなさんとセンターが連携・協力することで、住民自治の充実をめざします。



（仮称）西部地域市民サービスセンターイメージ図

## ☆「食料」についてのみなさんの意見は？

今回のアンケートでは、「食」に関する質問項目を加えました。市民の皆さんが、食料や地産地消に対して、どのような関心や意識を持っているのか調査を行い、今後の農業施策等の展開に向けた基礎資料にしたいと考えています。

## 地産地消を進め、生産者と消費者の信頼関係をもっと強くして、「食」や「農」についての関心を深めてもらい、食料自給率の向上につなげます

### 「食」をめぐる背景



「食」は、私たちの命を支える源であり、一日たりとも欠かすことができない生活の基本です。私たちの食卓は、国内で生産される農林水産物に加えて、世界中からの様々な食料の輸入によって支えられています。

しかしながら、近年では、BSE問題に端を発した牛肉偽装問題、食品の偽装表示、中国産冷凍ギョウザによる食中毒問題、事故米の流通など、食の安全・安心について不安を抱くような事件・事故が明らかになってきています。

また、食料自給率の低下も大きな課題です。戦後、食生活の変化から、特に畜産物（肉、乳製品、卵など）や油脂類の消費が増えた一方で、自給率の高い米の消費が減り、日本の自給率の低下に歯止めがかかっていない状況です。

### 秋田市のめざす方向性



国では、食料・農業・農村に関する諸課題への取り組みを強化し、食料自給率を高める方針を打ち出しています。

秋田市としても、地域レベルで具体的な行動を起こすことが重要であると考えています。市民が、市内で生産された農産物をできるだけ多く消費することが食料自給率向上の第一歩です。そのため、消費者ニーズを把握し、関係機関と連携しながら、「地産地消の取り組み」を積極的に進めます。

また、中長期的な課題である「耕作放棄地」を含めた農地の有効活用も、食料自給率の向上に効果的であると考えており、大豆やほうれんそうなどの米以外の農作物の作付けを促進しながら、生産拡大につながる環境整備を進めます。

### 地産地消のメリット



地産地消は、以下のようなメリットがあります。

消費者側	生産者側
<ul style="list-style-type: none"><li>身近な場所で作られた安全で新鮮な農産物を食べることができる。</li><li>直接見て、聞いて、話して、生産状況を確認することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>消費者ニーズが即座にわかる。</li><li>流通コストの削減や、少量・多品目の販売ができる。</li></ul>

## ☆調査結果は、このようにいかされます

「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱ」の調査票は、回答をいただいた後、ただちに集計・分析を行います。調査結果は報告書にまとめ、市のホームページで公表します。

そして来年度、調査結果を踏まえて新しい期間計画「22-24期計画」を作成します。

「22-24期計画」のスタートは、平成22年4月を予定しています。

## 22-24期計画の完成まで



調査開始

平成20年10月20日

調査締切

11月4日

調査結果

平成21年 3月公表

計画作成スタート

4月

ホームページなどで計画案に対するみなさんの意見をお聞きします

8月頃

22-24期計画完成

平成22年 3月

計画スタート

4月予定

## あなたの思いを、秋田市の将来のために…

- 市内在住の15歳以上のかたから3千人を無作為に選び、調査票をお送りさせていただきました。
- 調査は無記名です。回答内容はすべて統計的に処理され、回答者が特定されることはありません。
- 返信用封筒に別紙の調査票を入れ、切手をはらずに11月4日（火）までポストにいらしてください。

問い合わせ 秋田市企画調整部企画調整課 直通 018-866-2032

F A X 018-866-2278

eメール ro-plmn@city.akita.akita.jp

秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱ報告書  
平成21年2月発行

---

編集・発行	〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 秋田市企画調整部企画調整課 TEL 018-866-2032 <a href="http://www.city.akita.akita.jp">http://www.city.akita.akita.jp</a>
-------	---

---

集計指導・分析	秋田工業高等専門学校環境都市工学科 教授 折田仁典
---------	------------------------------

---

グラフ作成・集計 印刷・製本	株式会社 アキタネット
-------------------	-------------

---



 秋田市しあわせづくり  
市民意識調査Ⅱ報告書  
2009年2月 秋田市